

協同組合豊田市商店街連盟 小坂発展会 活性化計画 平成23年度－25年度

1. 小坂発展会の現状と課題	
(1)商店街の組合員の構成及び商店街の位置	1
(2)商店街エリアの組合員店舗の集積状況と特徴	2
(3)商店街組合員の現状(組合員アンケート調査より)	3
(4)これまでの商店街活動	
2. 活性化の基本方針と目標	
(1)活性化計画作成の背景	4
(2)商店街の現状と課題	
(3)商店街活性化の基本方針と目標	
3. 3ヶ年の事業計画	
(1)事業計画一覧	5
(2)目標数値と評価方法	
(3)主な事業の具体的な内容	6
4. 推進体制	
(1)推進体制	7
(2)小坂発展会役員	
5. 活動記録	8

平成 23 年 5 月 20 日

(協)豊田市商店街連盟
小坂発展会

(1) 商店街の組合員の構成及び商店街の位置

小坂発展会は愛知環状鉄道新豊田駅の西側に位置した広範囲な商店街である。商店街区域内には、産業文化センター、美術館、市民文化会館等の公共文化施設や毘森公園があり、文化と緑を感じることができる地域である。
 商店街組合員は83件と、豊田市中心市街地のなかで西町商店街（協）に次いで組合員数が多い。
 業種別では、飲食業が一番多く、27件で全体の32.5%である。次いで小売業22件、26.5%、サービス業が17件で20.5%である。

① 商店街の組合員数

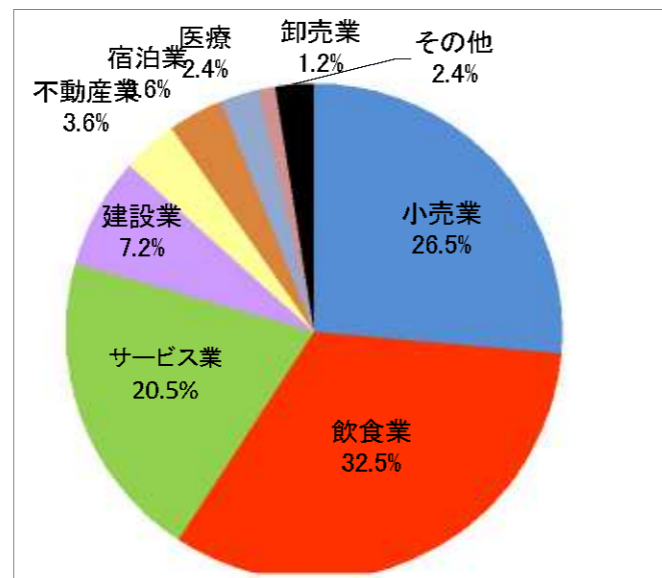
小坂発展会組合員数	83件
-----------	-----

② 業種別組合員数

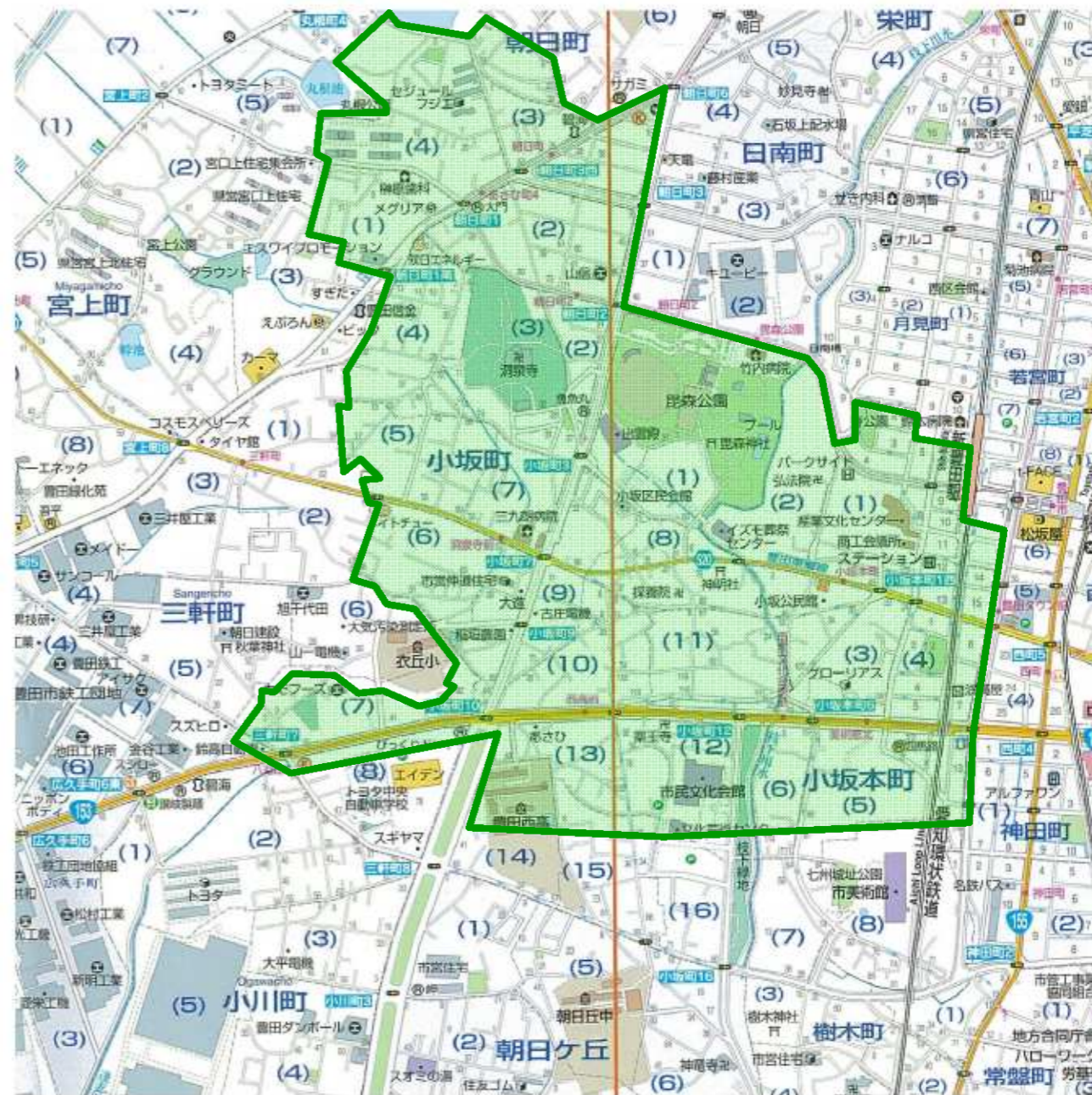
業種	組合員数	小売業	飲食業	サービス業
衣料品	4件	22件	22件	17件
身の回り品	2件			
飲食料品	4件			
建具・家具	3件			
車類	4件			
その他	5件			
飲食店	22件	27件	5件	5件
バー・スナック	5件			
マッサージ	4件	17件		
理美容	2件			
教室	3件			
冠婚葬祭	3件			
その他	3件			

業種	組合員数
建設業	6件
不動産業	3件
宿泊業	3件
医療	2件
卸売業	1件
その他	2件
合計	83件

業種	組合員数	構成比
小売業	22件	26.5%
飲食業	27件	32.5%
サービス業	17件	20.5%
建設業	6件	7.2%
不動産業	3件	3.6%
宿泊業	3件	3.6%
医療	2件	2.4%
卸売業	1件	1.2%
その他	2件	2.4%
合計	83件	100.0%



③ 商店街の位置図



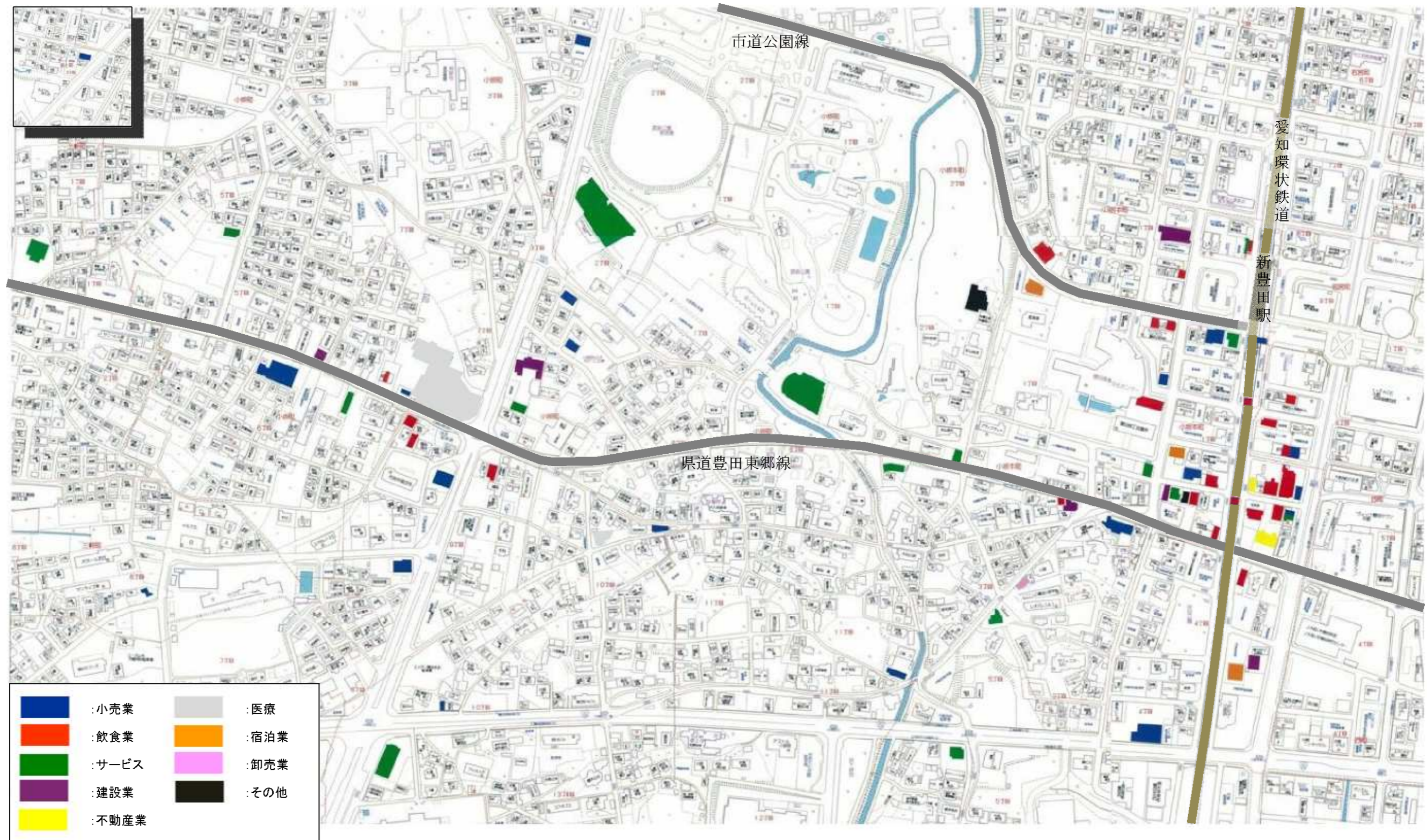
小坂発展会の範囲は豊田市小坂自治区に準ずる。
 朝日町1丁目・2・4丁目・3丁目の一部
 小坂町1～15丁目(5丁目の一部・14丁目の一部・16丁目・15丁目の一部を除く)
 小坂本町(5丁目の一部・8丁目の一部を除く)
 三軒町7丁目の一部

※①②③は、平成22年度通常総会資料に基づく

(2) 商店街エリアの組合員店舗の集積状況と特徴

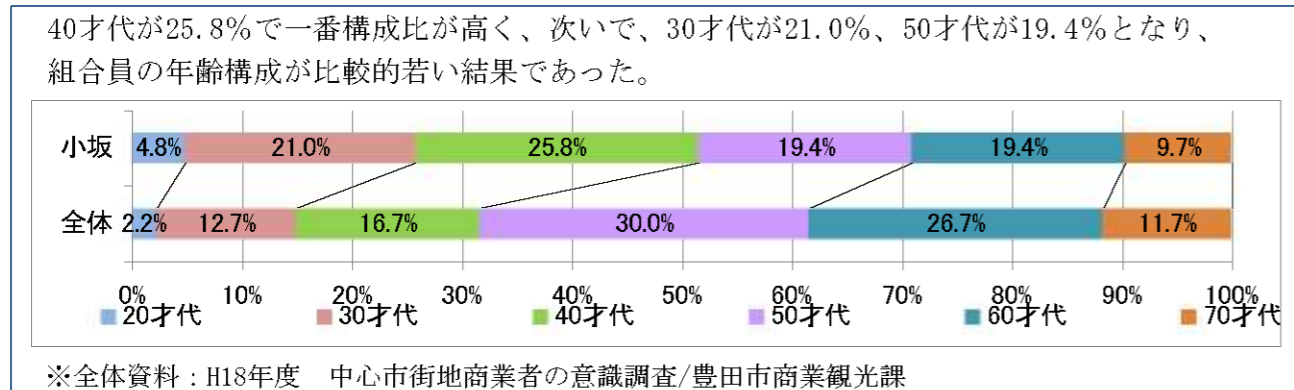
- 商店街エリア全体を見ると、組合員店舗が点在している程度で、商店街ゾーンを形成していない。
- V I T S 豊田タウン西側から愛環高架下にかけて、組合員店舗の連担（れんたん）性があり、商店街らしさがある。
- 県道豊田東郷線及び市道公園線沿線に、集積とまではいかないが、比較的組合員店舗が点在している。

平成22年度通常総会資料より



(3) 商店街組合員の現状(組合員アンケート調査より)

〈店主の年齢〉 組合員(店主)の年齢構成が比較的若い。



〈商店街に加入した動機〉 「自然」「おつきあい」が多い。

「商店街に加入するのが自然」32.8%、「おつきあい」32.0%で、合わせて64.8%となった。

「フリーパーキング」「店の宣伝」	17.6%
「行政等に要望」「セールへの参加」の店舗へのメリットを加入動機に挙げた回答は合計でも35.2%に留まった。	
地域の商店街に加入するのが自然	32.8%
近隣の商店との調整や昔からのおつきあい	32.0%
「フリーパーキング」の利用料金にメリットがある	17.6%
商店街マップ等で店の宣伝をしてもらえる	9.6%
行政等などに要望する時に商店街が役に立ちそう	6.4%
共同売り出しやセールなどに参加できる	1.6%

〈商店街活動に対する要望〉 「にぎわいづくり」「快適・便利な環境づくり」への要望が高い。

「にぎわいのある商店街」「にぎわいのあるイベント」「クリーンな商店街」「快適・便利な環境」等、商店街活動への要望が高かった。

◆商店街活動に対する組合員の要望上位5位

人通りが多く、にぎわいのある商店街をめざす	15.2%
空き缶、すいがらなどごみがないクリーンな商店街をめざす	11.8%
駐車場、アーケード、防犯カメラなど安心・快適・便利な環境をもっと整える	11.4%
はしご酒など集客力とにぎわいのあるイベントをする	10.9%
歩道、車道、施設など公共の整備をしてもらえるよう要望する	8.5%

〈自身のお店お将来について〉 「店舗の改装、改築」「新規出店」等、経営意欲が高い。

「お店を改装・改築したい」が18.5%であった。「閉店・廃業」は5.6%に留まった。

◆自身のお店の将来について、回答の上位5位

お店を改装・改築したい	18.5%
現在のお店はこのままで、新たに他の場所にも出店したい	13.0%
取扱商品を変えたいと思っている	5.6%
小坂町で増床または新たなお店を出したい	5.6%
閉店・廃業を考えている	5.6%

※【小坂発展会(組合員)アンケート】
 ・調査日：平成23年1月17日～31日 ・調査方法：無記名アンケート方式
 ・回答数：63件 回収率：75.9%

(4) これまでの商店街活動

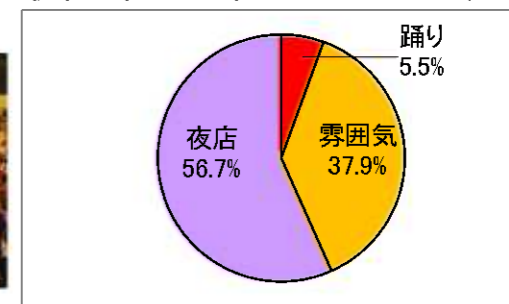
① 小坂納涼夏祭り

毎年、豊田おいでんまつりの翌週の土・日曜日に、小坂自治区と合同開催。

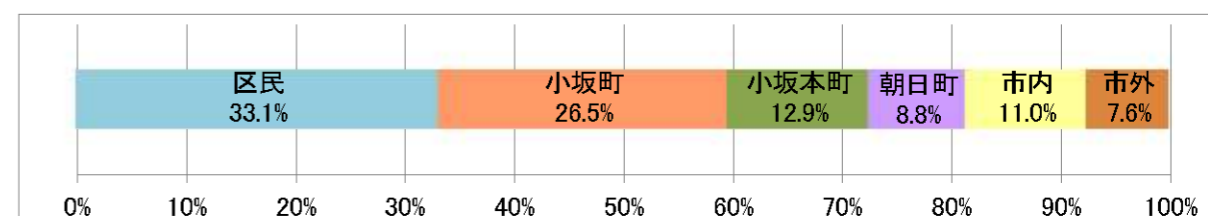


〈来場の理由〉

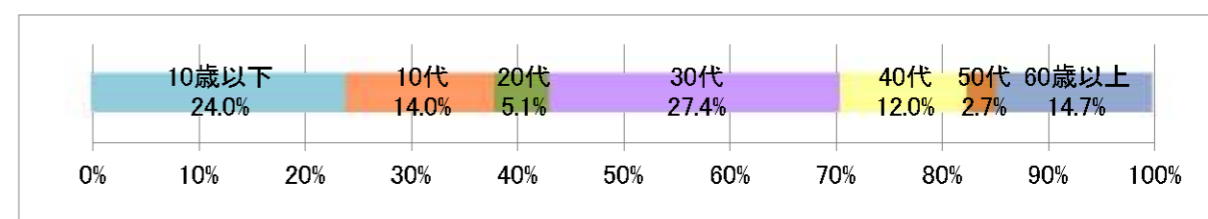
夜店を楽しみ来場した人が56.7%と多い。



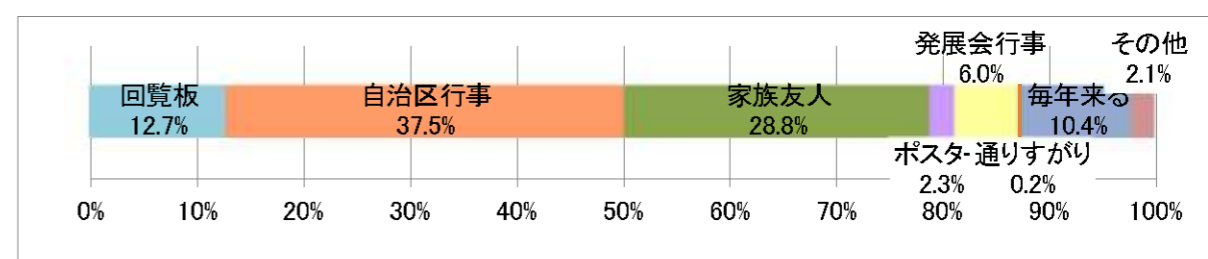
〈来場者の住まい〉 来場者のうち81.3%(区民+小坂町+小坂本町+朝日町)が近隣に住んでいる。



〈来場者の年齢〉 10歳以下と30代が多いことより、小学生以下の子ども連れ家族が多いと思われる。



〈開催を何で知りましたか〉 自治区(回覧板+自治区行事)を通じて知ったのは50%であった。



② 小坂発展会イラストマップの配布

発行年月：平成19年7月発行

部数：6,000部

配布方法：会員を通じて顧客に配布

配布先：商店街加入店舗



(1) 活性化計画作成の背景

小坂発展会は、昭和60年（1985年）小坂本町発展会として発足し、後に小坂発展会と改称し25年の歴史を有する。しかし時代、商店街を取り巻く環境等の変化の中で、組合員、役員の中から「商店街に加入してこの意味があるのか」、「発展会として、地域のお客様、会員のためにもっとすべきことがあるのでは」、「小坂発展会はこのままでは、『がんばれない商店街』の部類になるのでは」・・・等の声が出てきました。

そこで小坂発展会を市の商業施策にもとづき、商店街を「地域のコミュニティの担い手」、そして豊田市商店街連盟として中心市街地の活性化（中心市街地活性化基本計画エリア内に位置する）に重要な商店街として位置づけていることから、活性化計画を作成し「まちづくり型」事業に、新たに積極的に取り組みたいと思います。

(2) 商店街の現状と課題

【良い点】

- 組合員の年齢構成が比較的若い。また、組合員アンケート調査結果から、店舗経営について改装や増床・新規出店、経営革新（品揃えの見直しなど）を検討している店舗が多数ある。
- 毎年恒例の「夏まつり」など自治区と連携したイベントを開催し、地域との結びつきが強い。
- 商店街内及び周辺に、産業文化センター、美術館、市民文化会館等、広域から集客できる施設が点在する。

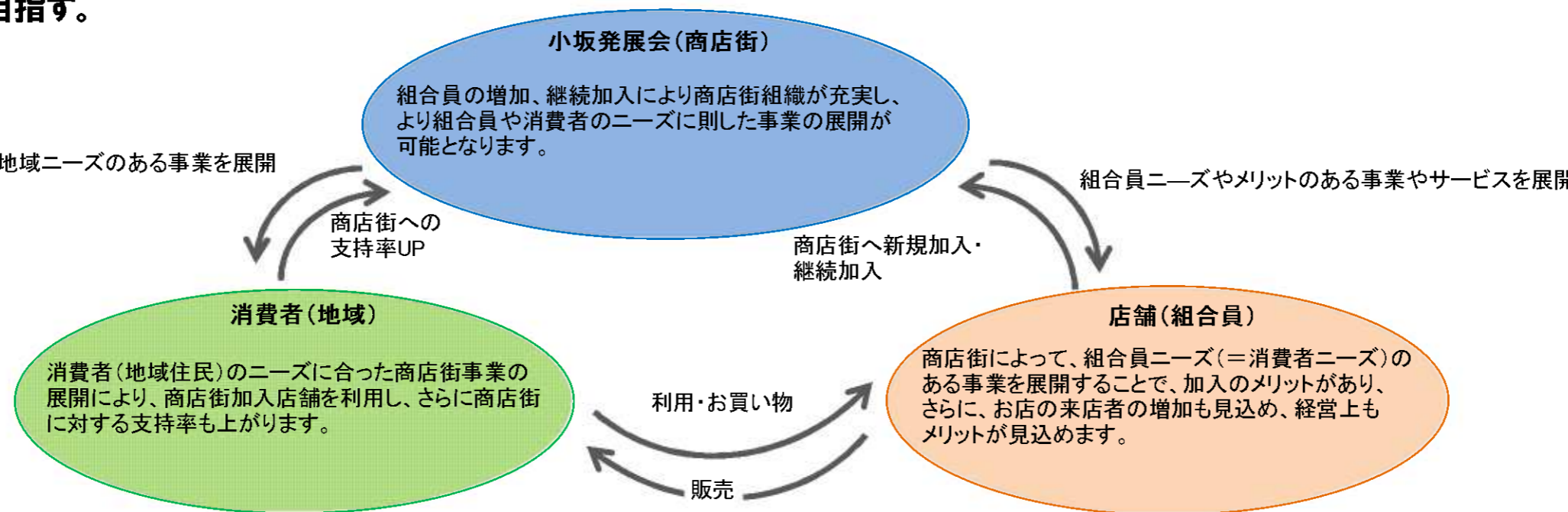
【課題】

- 自然発生的に広域に形成されており、商店街全域において、にぎわいのあるイベントを開催したり、徒歩で回遊することは非現実的である。
- 都市型商業（大型商業施設来場者やオフィス従事者をターゲットとした商業）と郊外型商業の店舗が商店街内に混在しており、商店街全体の共同販促に取り組みづらい。
- 組合員より、「商店街加盟のメリットが分からない」「活動内容がよく分からない」と言った声が挙がっている。

(3) 商店街活性化の基本方針と目標

商店街活性化の基本方針

- 「にぎわいづくり」、「安心・快適・便利な商店街環境づくり」の組合員ニーズに基づき、小さなアイデア・小さな取り組みの積み重ねにより活性化を目指す。



- 地域商店街として、地域住民を含めた商店街内外とのコミュニケーションの強化を図ることにより活性化を目指す。
- 将来の商店街の担い手づくりとして、人材育成等個店強化型取り組みにより活性化を目指す。

商店街活性化の目標

商店街活動・店舗の充実をはかり、地域の発展につなげます。

(1) 事業計画一覧

事業名		具体的な内容	スケジュール		
			平成23年度	平成24年度	平成25年度
1	継続・見直し	「小坂納涼夏祭り」の開催	● 年1回開催 毎年おいでんまつり翌週	● 年1回開催 毎年おいでんまつり翌週	● 年1回開催 毎年おいでんまつり翌週
2	新規	飲食イベントの開催	● 年1回開催(10月予定) ※近隣商店街と日程調整	● 平成23年度の結果を踏まえ 年1回or2回開催を決定 ※近隣商店街と日程調整	● 年1回or2回開催を決定 ※近隣商店街と日程調整
3	継続・見直し	小坂発展会 「安心お店・サービスMAP」づくり	-----> 地域に役立つ内容の検討 協力店舗の決定	-----> MAP作成、配布	-----> MAP配布 内容の見直し
4	新規	研修会の実施	● 研修会又は先進地研究を 年1回実施	● 研修会又は先進地研究を 年1回実施	● 研修会又は先進地研究を 年1回実施
5	新規	会員の業態転換・経営革新の推進	● 組合員の要望に応じて支援		----->
6	新規	空き店舗活用の推進	● 要望に応じて支援		----->

(2) 目標数値と評価方法

- 「にぎわいづくり」、「安心・快適・便利な商店街環境づくり」の組合員ニーズに基づき、小さなアイデア・小さな取り組みの積み重ねにより活性化を目指す。

小坂発展会組合員数の増加を目指す	組合員数(平成23年度通常総会) 82件 → 平成25年度(平成26年3月末)組合員数 85件 活性化計画期間中で、組合員数3件の増加を目指す。
組合員の商店街に対する加入メリット(満足度)の向上を目指す	平成25年度に平成22年度に実施した「組合員アンケート」と同様のアンケートを実施し、 「商店街に加入した動機について[フリーパーキング][店の宣伝][行政等に要望][セールへの参加]の合計回答率 平成22年度回答率 35.2% → 平成25年度回答率 40.0% 活性化計画期間中で、回答率4.8ポイントの増加を目指す。

3. 3ヶ年の事業計画

(3) 主な事業の具体的な内容

事業名	1 「小坂納涼夏祭り」の開催 【継続・見直し】
時期	年1回、おいでんまつり翌週の土・日に開催
目的	①地域貢献、自治区との連携 ②商店街組合員店舗の認知度の向上やPR
内容	<p>●概要 主催:小坂自治区、小坂発展会 時期:毎年おいでんまつり翌週の土・日に開催 目的:自治区住民及び商店街顧客に対する感謝祭としての位置づけ 内容:盆踊り、夜店、福引き、ピンゴ大会、もち投げなど 自治区と商店街が一体となり、まつりを運営し盛り上げている。 毎年、好評を得ている。</p> <p>●課題 ・自治区の夏祭りのイメージが強く、小坂発展会の認知度が低い ・子どもの来場者が多いが子ども向けの内容が少ない</p> <p>●見直し点 ・会場にて商店街PRチラシや商店街MAPを配布したり、抽選会景品を組合員店舗の協賛品にするように努め、地域住民の組合員店舗に対する認知度を高める ・より魅力ある出店内容、出店数の充実を図る ・商店街看板や祭り協賛店舗の紹介看板を設置し認知度を高める</p>



夏祭りチラシ

事業名	3 小坂発展会「安心お店・サービスMAP」づくり 【継続・見直し】
時期	平成24年度発行
目的	①商店街組合員店舗の認知度の向上やPR
内容	<p>●見直し点 ・地域の子どもの見守る目として、緊急避難場所を示す「子ども110番の店」の協力を組合員に募る。 ・現在作成している小坂発展会イラストマップに表記し、さらに、店舗に協力店ステッカーを作成し貼る。</p> <p>●配布先:自治区を通じて地域住民への配布に拡大。(現在は商店街組合員に配布) ●自治区や地域にとっては、より安全な環境づくりが推進でき、協力店(商店街組合員)にとっては、消費者に対して「安全なお店」とPRが出来る。</p>

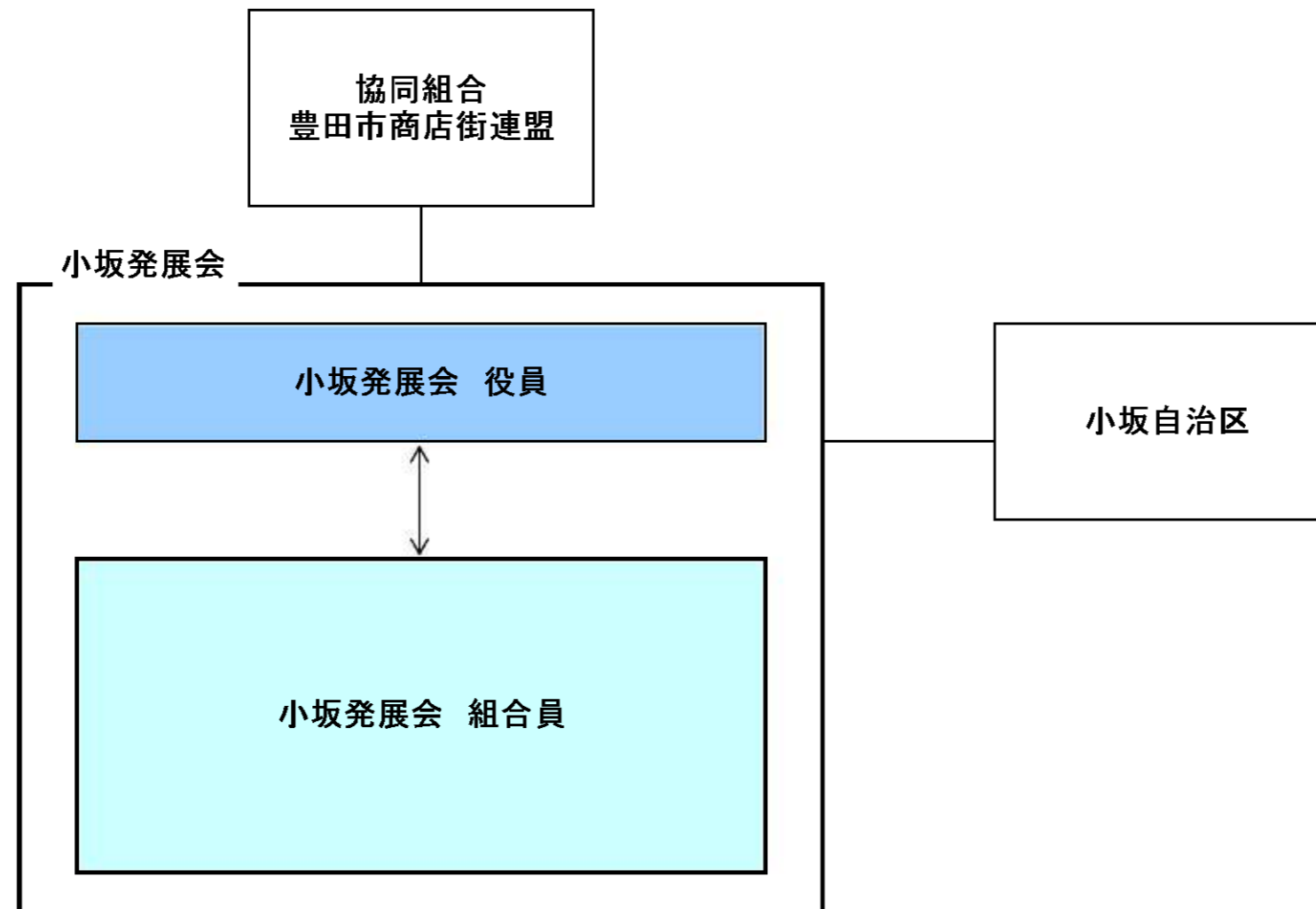


事業名	2 飲食イベントの開催 【新規】
時期	年1回(10月頃)開催 ※近隣商店街と日程調整が必要
目的	①組合員、消費者のニーズに合った事業の実施 ②商店街組合員店舗の認知度の向上やPR
内容	<p>・話題性のある単発イベントを定期的実施し景気づけ、「小坂発展会全体」を印象づけたい。 ・近年、飲食店組合員が増加の傾向にあり、組合員より要望の高い飲食イベントの開催を行う。 ・飲食イベントの集客を利用し、商店街全体の認知度UPを目指す。 ・飲食以外の業種との連携も検討し、一層の商店街の認知度UPを目指す。</p> <p>[実施例 西町商店街協同組合「はしご酒」]</p>



事業名	4 研修会の開催 【新規】
時期	毎年1回開催、開催月は未定
目的	①商店街組合員の営業力強化 ②商店街内外のコミュニケーションの強化
内容	<p>・商店街組合員の経営、営業に係わるスキルUP、知識や情報の吸収につながる研修会を実施する。 ・ICTの活用やフェイスブック等ソーシャルネットワークについての研修を行い、店舗の営業に活かすだけでなく、地域住民を含めた商店街内外のコミュニケーションに活かすことを検討する。 ・ICT活用の研修については、本3ヶ年の活性化計画期間中に研修会を開催し、知識を深めながら、商店街への導入を検討し、次の3ヶ年計画の中で実施したい。</p>

(1) 推進体制



(2) 小坂発展会役員 平成23年度・平成24年度

敬称略

役職	氏名	屋号
顧問	加茂 三樹雄	豊田市議会議員
顧問	神谷 基	小坂自治区長
会長	近藤 敏	電化ハウスタイムリー
副会長	杉山 悟	(株) FUNE (フューネ)
副会長	河合 秀昭	Casual Bar ばにら
副会長	長崎 洋平	鯉の洋平
会計(正)	伊藤 浩	(有) 庄田商店
会計(副)	伊藤 登	セフティーマーター大進
書記(正)	栗本 誠一郎	イズモ葬祭
監査	酒井 孟	司法書士酒井事務所
監査	田中 久勝	クリーンスタジオ(株)

第1回
平成23年4月7日(木) 18時～19時30分
<p>商店街活性化計画とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街活性化計画をつくる <p>小坂発展会の商店街活性化計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の現状「位置と周辺環境」「組合員数と業種」「組合員アンケート調査結果」
第2回
平成23年4月14日(木) 18時～19時30分
<p>小坂発展会の商店街活性化計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の現状と課題 まとめ ・基本方針と目標
第3回
平成23年4月21日(木) 18時～19時30分
<p>計画事業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント(小坂納涼夏まつり、はしご酒) ・情報発信(商店街イラストMAPの活用、更新) ・業態転換、経営革新店舗の支援 ・空き店舗活用、新規創業支援 ・研修会の開催

小坂発展会平成23年度通常総会
平成23年4月28日(木) 18時～19時
商店街活性化計画策定について承認
計画策定の経過報告

第4回
平成23年5月6日(金) 18時30分～20時
<p>商店街活性化計画策定(案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会の報告(意見等) ・具体的な事業内容 ・目標指数と評価方法 ・推進体制

全体会
平成23年5月12日(木) 14時～15時
<p>商店街活性化計画策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体説明 ・意見交換

